

試合運営確認事項

(主審クラスを受験する人は、以下確認事項を完璧に！)

1 ルールについての確認

- ワンタッチについて
手のひらにあたってから、ボールデットゾーンにでた場合のみワンタッチ成立となる。手のひらにあたってから、直線的に身体の一部にあたってボールデットゾーンに出た場合はワンタッチにとらない。
- ダブルタッチ
次の条件を満たしていればファールをとらない。
すぐ足下に置いた
両足とも一步も動かなかった
ボールの方向を変えなかった
以上のことを踏まえると、ボールを置く時は、両手で床に置かなければファールの対象となる、
- フォイスルは、3種類。使い分けをしっかりと！
ピッ タイムイン アウト ジャンプボール
ピー ファール アウトオブバーンズ タイムの要求
ピッピー 試合終了

2 主審

- よくみえる場所でジャッジを
ボールを追って動き、体を動きをとめてコール、ジェスチャーをする。
- アウト・オブ・バーンズのジェスチャー
4人の線審の旗を確認してから行えるように、ゆとりを持って。
ワンタッチコールをする必要はない。ボールの支配権のみでよい！
- ジャンプボール
高さ、方向、笛のタイミング、ゼッケンの確認
- ヘッドアタック
主審は、監督と必ず確認。監督が他の選手に指示を与えないようにすることにもつながる。
当てた人に対してヘッドアタックのコールとジェスチャー
当てられた人に対してセーフのコールとジェスチャー
アウトコールをしてからタイムを要求した場合

3 副審

- 副審の動き
センターラインを死守することが絶対。センターラインに戻れる範囲で、主審とセンターサークルの中心とした、点对称の動きをすることがベスト。
- アウトオブバーンズ
主審と同じようなジェスチャー。主審のブラインドサイドは、先にジェスチャーと笛をする。支配権が分かっている時は、主審より早く支配権のジェスチャーをする。
- アウトの確認
アウトの発見。主審とアイコンタクト。主審が気がつかない場合、「ピッ、番アウト」

4 線審

- ボールデット時
4人の線審全員が旗を挙げる。
- ワンタッチ
コールと同時にジェスチャーし、主審の方に静態する。旗を下げるのは主審がコールしてから。

- ・ ノータッチ
ジェスチャーをし、主審の方に静態する。旗を下げるのは主審がコールしてから。
- ・ アウト
アウトを発見したら、直ちにオフィシャルタイムアウトを主審に要求するが、**タイミングを考えて！「ピーッ、タイムお願いします。」**旗を振りながら、コート中央まで全力疾走！
タイムを要求した時点でボールデットになることを、しっかり理解しておく。タイムを要求した人の笛の鳴り始めが試合停止。空中にある場合は、投球者に戻して試合の再開。（審判テキストブック P.10 参照）
- ・ 茨城方式の場合（偶数線審回り込み）
偶数線審がアウトを発見した場合
旗を持ってない方の手で、あたった選手を指す。
- ・ 線審がとれるファール
ラインに関するファールのみ
オーバーライン、アウトプレー、ホールディング、タッチ・ザ・ボディー、ダブルパス など
イリーガルスロー、キャッチの疑いがあるときや、その他のファールと疑わしき場合は、タイムを要求して協議をする。

5 記録

- ・ 主審のコール後の復唱
手を挙げてコール。スタンドから見て人にも分かるようにする。
- ・ スコアードの確認
試合開始前 チーム名、ゼッケンの色
試合終了時 スコアを書く
試合終了後 両チームの監督からサインをもらう
勝ちチームに○，負けチームに×，引き分け△を書く
コートマスターにサインをもらう
主審からサインをもらう

6 計時

- ・ 試合開始のタイミング
主審の手からボールの離れた時点
タイムの後は、主審のタイムインの笛。
- ・ 試合終了時の有効球の確認（コートマスターだけに任せない）
試合終了は、タイマーの鳴り始め。鳴り始めとなるべく誤差を少なくするように笛を吹くとともに、ボールにも目を配る。

7 その他

- ・ 主審，副審，線審の連携（主審が試合をつくる）
アウトオブバウンズ
線審の旗を確認してから，主審，副審ともジェスチャー。笛を吹くのは主審。
アウトが発生しボールデットゾーンにボールが出た時
主審 アウトコール 「ピッ， 番アウト」
副審 アウトオブバウンズコール 「ピーッ」
主審 アウトオブバウンズコール 「ピーッ」「ボールの支配権を言う」
- ・ ファール発生後の説明
センターサークルよりもやや後方，選手全員を見わたせる場所で，選手全員に聞こえるような大きな声で説明をする。